

物語の言語



anir- 願う
hene 彼女は
beriad 保護
hên 子ども
(h)în 彼女の

Imladris 裂け谷
he 彼女/彼

Anirne hene beriad i chên chîn.

彼女は願った 自分の子供の保護を

Ned Imladris nauthant e le beriathar aen.

裂け谷ならば、お前を護ってくれると思ったのだ

25

物語の言語



annon 門、扉
edhel エルフ
edra- 開く
ammen 我々に
fennas 玄関
nogothrim
ドワーフの一族
lammen
私の口にする
言葉

Annon Edhellen edro hi ammen.

エルフの門よ 我らのために開け

Fennas Nogothrim lasto beth lammen.

ドワーフの玄関よ 我が話す言葉を聞け

26

物語の言語



27

物語の言語



ハルディア: Mae govannen,
Legolas Thranduilion.

良き出逢いだ、スランドウイルの息
子レゴラスよ

レゴラス: Govannas vîn gwennen
le, Haldir o Lórien.

我らの仲間はあなたに負っており
ます

mae govannen 良き出逢いです
= 出逢いの挨拶
Thranduilion

スランドウイルの息子
govannas 仲間
gwennen 負っている

28

物語の言語



ハルディア: A Aragorn in Dúnedain
istannen le ammen.

ああ、西方の民のアラゴルン。我々にあなたは知られている。

アラゴルン: Boe ammen i dulu lîn.

我々は必要としている、あなたの援助を。

Boe ammen veriad lîn.

我々は必要としている、あなたの庇護を。

Henio, aniron. 分かって下さい。

istannen 知られている

boe 必要である

dulu 援助

beriad 庇護、護り

henia- 理解する

anira- 願う

29

物語の言語



ハルディア: A Aragorn in Dúnedain
istannen le ammen.

ああ、西方の民のアラゴルン。我々にあなたは知られている。

アラゴルン: Boe ammen i dulu lîn.

我々は必要としている、あなたの援助を。

Boe ammen veriad lîn.

我々は必要としている、あなたの庇護を。

Henio, aniron. 分かって下さい。

istannen 知られている

boe 必要である

dulu 援助

beriad 庇護、護り

henia- 理解する

anira- 願う

30

物語の言語



Bealocwealm hafap 邪なる殺戮が

fréone frecan forth onsended. 高貴なる戦士をかなたへと送ってしまった

giedd sculon singan gléomenn sorgiende

詩人たちは哀しみつつ 歌を歌うがよい

on meduselde þæt he manna wære

蜜酒の広間にて 彼は男たちの中にあつて

his dryhtne diereost and maga deorost.

自分の王にとって最も愛すべき者 そして親族の中で最も慕わしき者であったと

31

物語の背景



格言詩

Cyning sceal rice haldan.

Ceastra beoð feorran gesyne,

Orðanc enta geweorc,

þa þe on þysse eorðan syndon,

wrætlic weallstana geweorc.

古英語で書かれた格言詩

王は国を治むるべきなり

城は遠くから見えるもの

優れた技なる エントの業物

それらはこの地上において

驚くべき石の壁の造物なり。

32

物語の背景



格言詩

Cyning sceal rice haldan.

Ceastra beoð feorran gesyne,

Orðanc enta geweorc,

þa þe on þysse eorðan syndon,
wrætlic weallstana geweorc.

古英語で書かれた格言詩

王は国を治むるべきなり

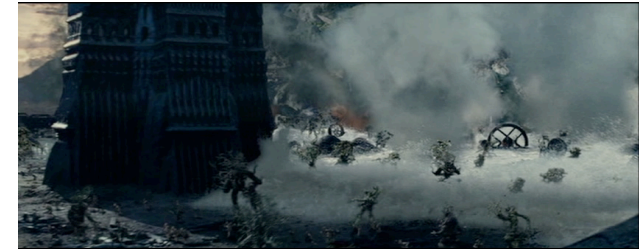
城は遠くから見えるもの

優れた技なる エントの業物

それらはこの地上において
驚くべき石の壁の造物なり。

33

物語の背景



格言詩

Cyning sceal rice haldan.

Ceastra beoð feorran gesyne,

Orðanc enta geweorc,

þa þe on þysse eorðan syndon,
wrætlic weallstana geweorc.

王は国を治むるべきなり

城は遠くから見えるもの

優れた技なる エントの業物

それらはこの地上において
驚くべき石の壁の造物なり。

古英語で書かれた格言詩

orthancは「賢い、賢さ」などの意味がある

34

物語の背景



あの馬と乗り手とは、何処へいった？ 吹きならされた角笛はいまどこに？
兜と鎧かたびらは、かぜになびいた明るい髪の毛は、どこに？
堅琴をかなでた指は、紅く燃えた炉辺の火は？
春はどこに？ 稔りの時と丈高く熟れた穀物は、どこへいったか？
すべては過ぎていった、山に降る雨のように、草原を吹く風のように。
過ぎた日々は、西の方に、影を負う山々のうしろに落ちてしまった。
燃えつきた焚木の煙を集める者があろうか？
流れ去った年月の海から戻るのは見る者があろうか？ 「青年王エオルの歌」

35

物語の背景



Et Eärello Endoreнна utúlien.

Sinome maruvan ar Hildinyar tenn' Ambarömetta!

大海を越えて、我は中つ国に來たり

この処に我は留まらん、また我が子孫も

この世の終わりまで

36